

---

# 秋と春。

春風 爽

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

秋と春。

### 【Nコード】

N8140E

### 【作者名】

春風 爽

### 【あらすじ】

秋と春のほのぼのストーリーです。連載する予定なので、読んでみてください。

## ブローグ

「ったく…さつきからうるさいって言ってるだろう。パリパリぱりぱりうるさいんだよ！　ちよつとは黙つとけよ春！」

勉強机に座つて勉強をしていた秋が後ろを振り返り、春に怒鳴つた。顔を真つ赤にしたかと

思うと、後ろを振り返つたままの秋の顔が真つ青になっていった。震える手で春を指差し、口

をパクパクさせた。

「何、秋？　何におびえてんの？　しかも、酸欠の金魚みたいに口パクパクさせちゃってさー」

手にポテチを持った春はおかしそうにくっくっくつと声を出さずに笑つた。

「お、お前…なんだよ、このゴミの山っ！…！」

「何って？　見ての通り、お菓子の袋と箱だけど？」

春はポテチの袋に顔を突っ込んで「あれ？無くなっちゃった…」とつぶやくと袋を逆さにして

ポテチの欠片を口に流し込んだ。そして、ぐちゃぐちゃつと袋を丸めてポイと近くに投げ捨て

た。

「お前、このゴミどーすんだよっ！」

ゴミの山を見てみると、ポテチやポッキー、プレッツ、プチシリ―ズ、チロルチョコ、トッ

ポ、プッカなど、さまざまなお菓子のゴミが床を埋め尽くしていた。しかも、ご丁寧にゴミは

春の右側の一か所に集められ、ゴミの山がつくられていた。

「どうするって言われても…」

春は自分の左側から『紀州うめプレッツェル』を手に取り、箱から小分けの袋を取り出してバ

リつと破るとおいしそうにポリポリと食べ始めた。

「…春。反省の色が見られないんだけど…？」

「だってうまいもん。秋も食べてみる？ 厳選海人の藻塩を使用！  
さらに、さらに、紀州産

の大粒“南高梅”を使用してるんだよ。このうまさは食べんと分かん分かん」

早くも2袋目の袋をバリつと破り、1本口にくわえ、もう1本を秋に差し出し「食べる？」と

聞いた。

「いや、いい。俺はお前のように毎朝毎晩お菓子食ってるような奴になりたくないから」

「いいじゃん。別に減るもんじゃないしー」

「それ、答えになってないよ。ってか、お菓子は減るし、お金も減るし……」

「まあ、まあ、気にすんな!」

「……まったく、気楽なヤツだ」

「この家にいるのが俺のホントの母親じゃないくせに?」

「…春?」

「思ってたんだろう? 違う家にいるくせにのんきな奴だって」

春はプレッツェルを口にくわえると、ポキッと音を鳴らして2つに割った。

「…思っていない。春は無理してる。…小さいとき、飴好きだったのに俺があげても食べなくな

ったし…」

「誰だって、好き嫌いはあるものさ」

「誤魔化すなよ」

「誤魔化す？ ホントのことだよ。全部事実だ。俺が母親に捨てられたことだってな」

「春。もう止めようよ」

「ああー、ワリー。つつい、思い出しちゃったよー。悪いな。ごめん」

「いいよ、春は悪くない」

春は照れたように笑うと「ごめん。こんな弟で」とつぶやいた。秋には聞こえてなかったよう

だが、お菓子を食べるのを再開した春を見て、唇を緩めた。

「そのことはいいんだけど…ゴミはちゃんと捨てようね、春くん？」

「ゴメンナサイ」

春はプレッツェルの袋を逆さにして欠片を口に流し込んだ。

## プロローグ（後書き）

読んでいただきありがとうございます。

初めて、こんな小説を書いたので、受けがいいかは分かりません。もしよければ、今後の参考にしたいのでアドバイスや感想など下さい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8140e/>

---

秋と春。

2011年1月15日21時10分発行